

要求水準書（案）主要変更箇所 第3回委員会提示⇒第4回委員会提示

P	項目	変更前	変更後	備考
3	5.施設規模（1） （2）	焼却 240 t 破砕 25 t	210 t 24 t	R5 実績追加後のごみ量推計値及び環境省の算定数値変更による修正
5	1 処理能力（3）組成 表 1-1 ごみ質	R2～R4 調査による算定	R3～R5 調査による算定	
6	5.ごみ搬入日及び搬入時間	年末年始は除く	具体的な期間を明示	現状の収集に合わせた修正
6	6.搬出入車両	一般的な車両データ	現施設の車両データ	現状の搬入車両確認による修正
7	8 主要設備方式（1）運転方式	全休炉期間8日	全休炉期間7日	
8	8.（2）主要設備方式	ピット貯留容量9日分	<ul style="list-style-type: none"> ピット貯留容量8日分 2段ピット計画を記載 投入扉の寸法を追記 	投入扉 2 t パッカー車が投入可能寸法、内1門は 10 t ダンプ投入可能寸法
23	4.鉄骨製作工場等の選定（ア） （イ）	S又はHグレード	同等の性能があれば可	Mグレードも可能
47	（9）作業日及び作業時間 ア	作業休止を日土・日・祝 年末 年始	作業時間は 40 時間/週	曜日、期間で限定せず工事工程上の作業効率を考慮
56	2プラットフォーム（3）ア幅員	20m以上	18m以上	
57	3. ごみ投入扉 （2）		2 t 車用 4 基、10 t 用 1 基以上	条件追記
58	5. ごみピット（3） ア.容量 イ.ごみピット単体重量	14,700 m ³ 以上 9日分 0.147 t / m ³	10,980 m ³ 以上 8日分 0.153 t / m ³ 2 段ピットの場合の貯留量、単 体重量を追記	処理能力・単位体積重量・貯留量による修正 $210 \text{ t} \times 8 \text{ 日} \div 0.153 \text{ t} / \text{m}^3 = 10,980 \text{ m}^3$ 貯留部の単体重量は圧密を考慮 $210 \text{ t} \times 1 \text{ 日} \div 0.153 \text{ t} / \text{m}^3 = 1,373 \text{ m}^3$ $210 \text{ t} \times 7 \text{ 日} \div 0.221 \text{ t} / \text{m}^3 = 6,652 \text{ m}^3$ 計 8,025 m ³

P	項目	変更前	変更後	備考
61	7 脱臭装置 特記 2	容量 ごみピット室 2 回/h	容量 ごみピット室 1 回/h	メーカーヒアリングで支障なし
64	2-2 燃焼装置 特記 9	直接投入できる 投入口	直接投入できる 経路 に変更	委員指摘 ホッパー以外に投入口は不可
69	3-2 エコノマイザ	記載なし	記載	委員指摘により追加
71	5.ボイラ給水ポンプ 特記 1	余裕率 20%	10%	メーカーヒアリングで支障なし
72	6-1 清缶剤注入装置 (2) イ	タンク容量 10 日分 以上	タンク容量 7 日分 以上	7日に統一
75	9. 低圧蒸気復水器 カ	設計空気入口温度 38℃	33℃	日平均データとした
83	2-2 NOx 除去設備 (1) オ (4) ア. 薬剤貯留装置 (ウ)	出口 NOx 濃度 100ppm 容量 8 日分以上	50ppm 7 日分以上	入力修正 7日に統一
86	3. ダイオキシン類及び水銀除去設備 (4) 主要機器 ア	容量 8 日分	7 日分	7日に統一
91	通風設備 1. 押込送風機 (一次)	特記 1 最大風量余裕率 20%	10%	メーカーヒアリングで支障なし
92	2. 押込送風機 (二次)	//	//	//
92	3. 空気予熱器	特記 交換熱量 余裕率 20%	10%	//
93	4. 空気加熱器	//	//	//
94	6. 誘引送風機	特記 風量余裕率 30% 特記 独立基礎とする	10% 限定しない記載内容に変更	// 委員指摘 通常は独立基礎としない
95	7. 排ガス再循環送風機	特記 風量余裕率 20%	10%	メーカーヒアリングで支障なし
99	4-1 灰ピット	(3) ア. 容量 8 日分	7 日分	7日に統一
105	7-4 処理物バンカ又はピット	(3) ア. 容量 8 日分	7 日分	//
107	給水設備 3. 水槽類仕様	プラント、井水、冷却水 生活用水受水槽の各受水槽 7 日分	生活用以外 3 日分 生活用 1 日分、ただし運転に必要な備蓄水を 7 日間程度備蓄	他事例を参考に規模縮小 上水 7 日間備蓄は塩素濃度低下で不適
108	5. 機器冷却水冷却塔	工. 外気温度 -2℃から 38℃	-2℃から 33℃	日平均データとした
110	2. ごみピット排水貯留槽	(3) ア. 容量 8 日分	7 日分	7日に統一

P	項目	変更前	変更後	備考
118	電気設備 2.電気方式 (1) (2)	受電電圧 [6.6] kV 発電電圧 [6.6] kV	[] kV [] kV	委員指摘 記載ミス修正
131	計装設備 (3) ITV 装置	特記 有効画素数 768H×494V	200万画素	委員指摘 表示修正
149	計画主要目 1 処理能力 特記		1 容プラ 2 不燃残渣 (ガラス) 及び不燃残渣 3 蛍光管など	ストックヤード 別棟につき 特記追記 1.2.3
150	4 処理条件 処理可能最大寸法	長さ 1m太さ 5cm 長さ 50cm太さ 30cm未満	2D 長さ 3m太さ 0.3m 3D 2m×2m×1m	搬入基準の整理による修正
151	7 主要設備方式 (1) ア (ウ)		⑥不燃残渣 (ガラス) ⑦その他ガラス※1、※2 (キ)、(ク)、(ケ)	ストックヤード 別棟につき 追記
152	7 主要設備方式 (1) ウ			//
153	(2) 処理フロー 図 1	製品プラあり	製品プラ削除し処理不適物種別の追加	製品プラは民間委託、処理不適物種類を明記
154	(2) 処理フロー 図 2	//		
157	試運転及び指導期間	2 運転指導 90日以上	30日以上	運転しない組合員への運転説明の為、短縮
162	2-1 プラットホーム (4) ア幅員	20m以上	18m以上 焼却と供用	
164	3-1.粗大ごみ受入ヤード (3)	イ貯留容量 9日分以上	7日分以上	7日に統一
164	3-2 不燃ごみ受入ヤード (3)	イ貯留容量 8日分以上 ウ単位体積重量 0.39 t/m ³	7日分以上 0.15 t/m ³	//
164	3-1.粗大ごみ受入ヤード特記		7 ピット&クレーン方式とすることも可	メーカーヒアリングによる
165	3-2 不燃ごみ受入ヤード特記		を記載	
167	破碎設備 3-1 低速破碎機	特記 スプリング マットは破碎可能な設備	特記 3 破碎しない提案可	メーカーヒアリングによる
168	3-2 高速破碎機		特記 11 //	
175	3 スtockヤード 棟	プラスチックストックヤード	3-1 容プラ 3-2 不燃残渣・ガラス 3-3 その他ガラス 3-4 その他ごみ	ストックヤード 棟 (計量不要な貯留) は別棟として追記
176				
177				

P	項目	変更前	変更後	備考
184	見学者用設備	特記2 3か国語(英語、韓国語、中国語)	特記2 4言語(英語、韓国語、中国語(簡体字、繁体字))	泉佐野市内在住外国人による修正 簡体字—大陸系 繁体字—台湾・香港など
190	計装設備 (3) ITV 装置	特記 有効画素数 768H×494V	200万画素	委員指摘 修正
195	2 施設配置計画(1) 特記 カ		現地建替え考慮を追加	
196	イ構内動線計画 特記 サ		ラップUP舗装をコンクリート舗装	
219	1.外構工事 特記 カ キ		電気自動車充電設備追加	EV車への対応追加 補助事業あり 1/2
235	8.(2) 運営 本組合の業務範囲	(工) 再資源化業務	本組合は、再資源化物の運搬・売却等の業務委託契約を行う。	委員指摘 内容追加必要
238	11.1.ウ(工) 搬入車両	4tパッカー 10tダンプ	第1編、第2節6 搬入車両	
248	2.(6) 搬入物の性状分析	年4回	年12回	委員指摘 FITの関係上毎月必要 修正
251	表4-2 組成			
257	10.CSR 活動等		追加	周辺の地域活動への配慮を追加